



# 国際山岳年プラス20 シンポジウム in 黒部プログラム

・期 日：2022年12月10日(土)・11日(日)  
・会 場：黒部市芸術創造センター「セレネ」大ホール

## ◆12月10日 (土)

○9時30分～10時00分 開会式  
(来賓の挨拶)  
・谷垣 禎一 一般財団法人全国「山の日」協議会会長 (ビデオメッセージ)  
・武隈 義一 黒部市長  
・務台 俊介 超党派「山の日」議員連盟事務局長・衆議院議員  
・上田 英俊 衆議院議員  
・中尾 哲雄 一般社団法人立山黒部ジオパーク会長  
・小林 正樹 一般財団法人全国山の日協議会常務理事 (趣旨説明)  
司会：下澤 弥生 (NHKマイあざレポーター)

○10時10分～11時00分 <講演I>  
アシベック・アイダラリエフ (キルギス国際大学学長)  
\* Global Sustainable Mountain Development: Contribution of Kyrgyzstan  
in Solving of Problem in Mountainous Countries  
(世界の山岳地域の持続的発展：山岳国キルギスからの問題解決と貢献)

○11時10分～12時50分  
(セッション1) 山小屋と登山道の取り組みと安全への歩み  
・コーディネータ：愛甲 哲也 (北海道大学農学部准教授)  
・11時10分～11時35分 佐々木 泉 (阿曾原温泉小屋オーナー)  
\* 黒部の登山道整備の難しさ  
・11時35分～12時00分 清水 ゆかり (朝日小屋管理人)  
\* コロナ禍における朝日小屋の実情と問題点  
・12時00分～12時25分 山田 直 (北アルプス山小屋友交会会長)  
\* 中部山岳国立公園 (北アルプス) 内における利用環境の維持に関する  
課題及び山小屋の役割と現状について  
・12時25分～12時50分 < 討 論 >

○12時50分～13時30分 < 昼 食 >

○13時30分～15時10分  
(セッション2) 山岳地域の災害と復興の経緯  
・コーディネータ：古川 不可知 (九州大学講師)  
・13時30分～13時55分  
ダナンジャイ・レグミ (ネパール観光庁長官)  
カピンドラ・バッタ、シタラム・ダハール (共同著者)  
\* Mountain Tourism and Hazards: An assessment of Nepalese Himalayas  
(山岳観光開発と災害：ネパールヒマラヤの判断)  
・13時55分～14時20分 志鷹 新樹 (丸新志鷹建設株式会社取締役社長)  
\* ネパールにおける山岳土木工事への貢献と技能実習生の受け入れ  
・14時20分～14時45分 駒見 真一 (富山県地方創生局観光振興室  
世界遺産・ふるさと教育推進課長)  
\* 立山砂防の歴史的意義と世界文化遺産登録へ向けた取り組み  
・14時45分～15時10分 < 討 論 >

○15時15分～16時55分  
(セッション3) 山岳地域の自然資源の保護・保全対策  
・コーディネータ：中尾 文子 (北海道大学公共政策センター教授)  
・15時15分～15時40分 マクサト・アナルバエフ (キルギス国際大学)  
\* Current status and legislation on wildlife protection in the mountains  
of Kyrgyz Republic  
(キルギス山岳地域の野生生物保護の現状と法律)  
・15時40分～16時05分 泉山 茂之 (信州大学教授)  
\* 日本の山における野生動物管理の課題  
・16時05分～16時30分 大宮 徹 (富山県森林研究所森林環境課主任専門員)  
\* 立山における植生及び森林の保護と課題—外来植物除去の活動  
・16時30分～16時55分 < 討 論 >

○16時55分～17時10分 < 休 憩 >

○17時10分～18時00分 (講演II)  
萩原 浩司 (山と溪谷元編集長・山の日アンバサダー)  
\* 国際山岳年から20年。「山の日」制定に至る経緯と登山界の現状と未来について

○18時10分～19時30分 <レセプション>

## ◆12月11日 (日)

○9時00分～9時50分 <講演III>  
ヘルマン・クロイツマン (ベルリン自由大学名誉教授)  
\* International Year of Mountains Plus20-Focus on sustainable mountain development  
(国際山岳年プラス20-持続的山岳地域発展の焦点)

○10時00分～11時40分  
(セッション4) 山岳ジオパークの現状と国民への普及  
・コーディネータ：飯田 肇 (一般社団法人立山黒部ジオパーク理事)  
・10時00分～10時25分 王生 透 (一般社団法人立山黒部ジオパーク会員)  
\* 立山黒部ジオパークの実情と問題点  
・10時25分～10時50分 竹乃内 耕 (フォッサマグナミュージアム館長)  
\* 糸魚川ユネスコ世界ジオパークの活動と課題  
・10時50分～11時15分 目代 邦康 (東北学院大学教養学部准教授)  
\* 日本の山岳ジオパークの現状と課題  
・11時15分～11時40分 < 討 論 >

○11時40分～12時30分 < 昼 食 >

○12時30分～14時10分  
(セッション5) 山岳地域の観光利用拡大による注意点  
・コーディネータ：トーマス・ジョーンズ  
(立命館アジア太平洋大学教授)  
・12時30分～12時55分 山本 清龍  
(東京大学大学院農学生命科学研究科准教授)  
\* 山岳観光地を取り巻く環境の変化と対応～富士山と尾瀬の事例から  
・12時55分～13時20分 ロバート・トムソン (北星学園大学准教授)  
\* 北海道の山岳地域の利用と管理の課題  
・13時20分～13時45分 遠藤 博伸 (富山県ナチュラリスト協会会長)  
\* 立山黒部地域でのナチュラリスト活動と課題  
・13時45分～14時10分 < 討 論 >

○14時10分～14時30分 < 休 憩 >

○14時30分～15時50分  
(クロージングセッション) 山岳地域の持続可能な明るい未来は？  
・コーディネータ：渡辺 悞二 (北海道大学地球環境科学研究院教授)  
・14時30分～14時40分  
セッション1 山小屋と登山道の取り組みと安全への歩み：愛甲 哲也  
・14時40分～14時50分  
セッション2 山岳地域の災害と復興の経緯：古川 不可知  
・14時50分～15時00分  
セッション3 山岳地域の自然資源の保護・保全対策：中尾 文子  
・15時00分～15時10分  
セッション4 山岳ジオパークの現状と国民への普及：飯田 肇  
・15時10分～15時20分  
セッション5 山岳地域の観光利用拡大による注意点：トーマス・ジョーンズ  
・15時20分～15時50分  
国際山岳年プラス20の総合討論

○15時50分～16時20分  
・国際山岳年「山の日」と国民の祝日「山の日」の連携と「山岳基本法」の  
法制定に向けて  
梶 正彦 (一般財団法人全国山の日協議会理事長)

○16時20分～16時30分  
・主催者から挨拶  
水嶋 一雄 (一般社団法人黒部川扇状地研究所所長)

【来場者へのお願い】  
プログラムは当日突発的に発生した事由等によって変更される場合があります。  
会場周辺には、レストランやコンビニエンスストアがございませんので各自で昼食の用意  
を されますようお願いいたします。



お問合せ： 一般財団法人 全国山の日協議会 国際山岳年プラス20シンポジウム実行委員会事務局  
☎ 03-5315-0652 e-mail: office@yamanohi.net

